

韓国における帰国生の 学校生活のストレスと関連要因

朴 エスター

学位取得年月：平成 21 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 海外帰国生、ストレス、異文化間教育

【要旨】

昨今、韓国の経済成長と世界のグローバル化が進み親の海外赴任や留学のため、又は自らの留学のため出国する学齢期の子どもたちが著しく増加し、それに伴い帰国生の数も増えている。しかし、韓国では、帰国生を対象にした教育研究の数は僅かで、学校現場でその成果が十分に反映されているとは言い難く、同化と等しい意味での適応教育にその主眼が置かれている。そこで本研究は、韓国の帰国生が感じるストレスとそれに関連する要因を明らかにすることを目的とし、韓国の中学・高校に在籍する帰国生 240 名を対象に質問紙調査を実施し、統計的な分析を行った。主な結果として「教師との関係への落胆」と「現在の年齢」は、ストレスの「教師への不満」「規則遵守への強制」に有意に影響しているおり、「学校教育への落胆」はストレスの「教師への不満」「学業困難」に有意に影響していることが分かった。また、「友人関係への落胆」は、ストレスの「友人との不和」に有意に影響していることが明らかになった。

(ぱく えすたー)

子どもの母語を生かした学習教室における 支援者の子どもに対する関わり方の変化 —中国語母語話者に注目した支援記録からの分析—

韓 燕

学位取得年月：平成 21 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 子どもの母語を生かした教科学習、中国語母語話者、教師内省、支援記録

【要旨】

本研究は、「教科・母語・日本語相互育成学習モデル」に基づいた学習支援活動を取り上げ、活動に参加した中国語母語話者 1 名の子どもに対する関わり方の変化に注目し、その変化を促した要因を明らかにすることを目的とする。支援者自身によって二年間わたり記述された支援記録を考察した結果、「上から教える教師」態勢、「そばで伴に学びあう仲間」態勢、「子ども・日本人母語話者・自分という三位一体」態勢といった関わり方の変化が示していることが明らかにした。支援記録は、「観察・実践活動」、「知識経験」、「後援サポーター」、「パートナーシップ」を有機的につなげる役割を果たし、態勢の変化を促したキーツールであることがわかった。

(はん えん)